

平成27年11月30日

フロート式水上太陽光発電事業開始について (プロジェクトファイナンスによる事業支援)

武蔵野銀行（頭取 加藤喜久雄）は、平成26年10月31日に「川島太陽と自然のめぐみソーラーパーク合同会社」が実施するフロート式水上太陽光発電事業に対して、プロジェクトファイナンス（注1）を組成しました。今般、関連工事完了に伴い平成27年10月26日、発電事業の運転が開始いたしましたのでお知らせします。

本事業は、川島町土地改良区が管理する農業用貯水池にて、太陽光発電事業を行う企業を公募したものであり、また、約7.5MWの発電規模はフロート式水上太陽光発電事業において世界最大規模（注2）となります。

当行では、今後も再生可能エネルギー普及への取組みに対し資金調達面からの支援などを通じて、地域経済の発展に貢献してまいります。

<プロジェクト概要>

事業者	川島太陽と自然のめぐみソーラーパーク合同会社
事業参画者	株式会社スマートエナジー、株式会社スマートエナジーサービス 東上ガス株式会社、大東ガス株式会社
事業内容	フロート式水上太陽光発電事業
事業地	梅ノ木古凍貯水池（埼玉県比企郡川島町）
貯水池貸主	川島町土地改良区
発電規模	約7.5MW
総事業費	約30億円
組成金額	約21億円
融資契約締結日	平成26年10月31日
発電事業開始日	平成27年10月26日

※注1 プロジェクトファイナンスとは、プロジェクト専用の特別目的会社（SPC）を設立し、当該プロジェクトから生み出されるキャッシュフローに着目した融資手法です。

※注2 フロート式水上太陽光発電事業において

（平成27年11月30日時点 新聞報道等により株式会社ぶぎん地域経済研究所調べ）

以上

報道機関からのお問い合わせ先
地域サポート部 永谷・沼尻
TEL (048) 641-6111



【完成図】

